

第5回 全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ Q&A

1. 参加申し込みについて

Q: 参加申し込み時に動画は全ての出場校が提出しなければいけませんか。

A: 本年度より参加申し込み時は参加申込書のみの提出になりましたので、参加申し込み時点では動画の提出は必要ありません。

Q: 参加料は必要ですか。

A: 参加料は無料です。

2. 提出用動画について(予備審査・大会中止の場合に提出)

Q: 提出する動画については、最初から最後まで同じ場所から撮らなくてはいけませんか。

A: 極力正面に近い定点から全体が映るようにカメラを設置し、最初から最後まで途中ズームを使わずに、カメラの振りなども行わず、通して撮影を行ってください。カメラを三脚などで固定して撮影することが理想ですが、手持ちでの撮影による多少の手ぶれ等は規定に違反しません。ただし、動画をつなぎ合わせたり加工したりなどの編集が行われた動画は審査対象から除外されます。

Q: 提出用の動画は新たに撮影する必要がありますか。

A: 出演者の構成、撮影日、撮影方法などを確認し、「地区大会予備審査規定」または「大会中止などに関する規定」に記載してある要件を満たしている動画であれば、新たに撮影し直す必要はありません。

3. 演技について

(1) 演技内容について

Q: 演技開始時に、揮毫用紙に一切の物品が触れていてはいけなくとありますが、文鎮やハンドスプレー、型紙なども同様に演技開始前に配置をしてはいけませんか、また揮毫用紙下面に下敷きに類するものなどを配置してはいけませんか。

A: 如何なる物も演技開始時に揮毫用紙に接触した場合は、各審査員の得点から3点ずつ減点されます。

Q: 演技開始時に選手が揮毫用紙に触れてもいけないとありますが、演技開始時に揮毫用紙の近くに立つこともいけませんか。

A: 揮毫用紙に触れないで用紙の近くに立つことは問題ありません。ただし、服の裾などが揮毫用紙に接触しても減点されますので、揮毫用紙とはある程度の距離をとって配置されることをお勧めします。

Q: 演技時間が7分を超えた場合減点とありますが、演技時間の定義を教えてください。

A: 演技開始時一番最初に言った「お願いします」の言い終わりから、審査員への作品を垂直に掲示したあとで言う、演技終了時の最後の「ありがとうございました」の言い終わりまでが演技時間です。

「お願いします」を2回発声する場合は1回目の言い終わりが演技時間の開始で、「ありがとうございました」を2回発声する場合は、2回目の発声の言い終わりが演技終了時間となります。

Q: 審査員へ作品掲示をせずに終了の発声をした場合は、減点とありますが、どのような場合が減点となりますか。

A: 下記の4点が上記項目に該当する減点対象となります

- ①審査員へ作品を垂直に掲示する前＝判定員の赤色の旗が上がる前に、
終了の発声をした場合（審査員への掲示の前に終了の発声をしたため）。
- ②審査員へ作品を斜めに立てるなどして垂直に掲示せず＝判定員の赤色の旗が上がっていないのに、
終了の発声をした場合（審査員への掲示をせずに終了の発声をしたため）。
- ③審査員へ作品を垂直に掲示した後＝判定員の赤色の旗が上がったが、
終了の発声をしなかった場合（終了の発声をしなかったため）。
- ④審査員へ作品を斜めに立てるなどして垂直に掲示せずに＝判定員の赤色の旗が上がらず、
終了の発声もしなかった場合（審査員への掲示も終了の発声もしなかったため）。

(2) 用紙について

Q: 揮毫用紙はザラ面が表側（揮毫面）と規定されていますが、ツヤ面を表側（揮毫面）とすることはできないですか。

A: 当大会ではザラ面を表側（揮毫面）として使っていただくこととしており、ツヤ面には揮毫用紙製作時にすでにガムテープで補強をしていますので、ツヤ面側への揮毫はできません。

Q: 用紙に掲示用のポールを取り付ける際は、事務局が準備したガムテープを使用することとありますが、どのようなガムテープが用意されているのでしょうか。

A: 白色の布製ガムテープを用意しています。

Q: 用紙にポールを取付ける際のガムテープは本大会事務局が用意したものをを使用することとありますが、例えば用紙裏面に掲示補助用の袋を取り付ける際などにも、事務局が用意したガムテープを使用する必要がありますか。

A: 用紙にポールを取付ける場合のみ、本大会事務局が用意したガムテープを使わなくてはいけないと規定されていますので、袋などを取り付ける際は各校様が持ち込んだテープを使用することは可能です。

(3) 道具について

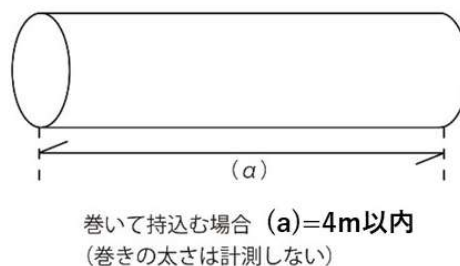
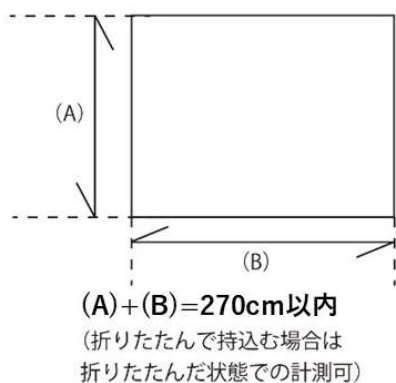
Q: 吸い取り紙としてだけ使用するものの大きさについては、その他のものの大きさより大きいものまで持ち込みできますが、吸い取り紙として使う配置の仕方などを演技に組み込むのはダメでしょうか。

A: あくまで吸い取り紙としてだけ使用するものとして例外的に認めているので、演技の中で目隠し的に使いながらの配置、踊りなどの中で持って配置するなどの演出に係る使い方に類する使い方をした場合は吸い取り紙としてのサイズ規定から外れるため、使用時の縦横の合計が 270 cm 以内の紙などをお使いください。

Q: 吸い取り紙は持ち込むときの大きさが 2 辺の合計が 270cm 以内になっていれば折りたたんだものなどを持ち込むことが可能ですが、その他演技などに使う道具等に関しても同様の考え方で良いでしょうか。

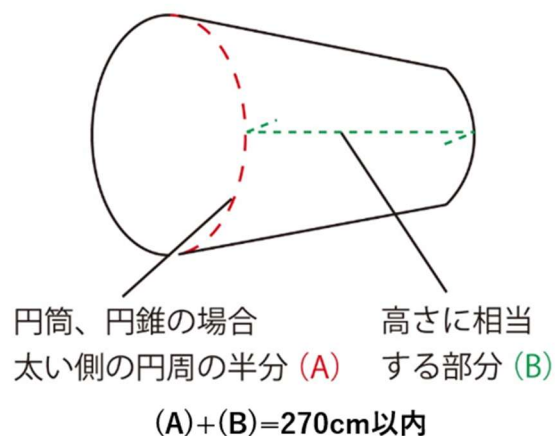
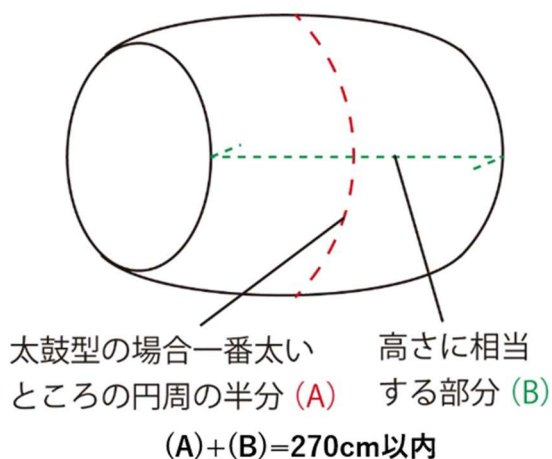
A: 吸い取り紙としての用途のみで使用する紙、布などに関しては折りたたんだ状態でサイズ計測しますが、その他のものに関しては「使用時の 3 辺の合計が 270cm 以内であること」となっていますので、広げた状態でサイズ計測します。ただし、「演技開始以降に組み合わせるなど」により、このサイズ以上にして使用することは可能です。

吸い取り紙としての用途のみで使用する紙、布などの持ち込み可能サイズ



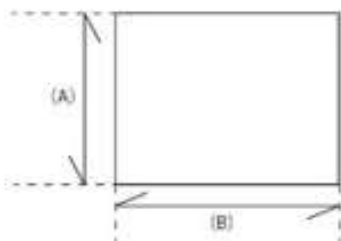
Q: 持ち込み道具の大きさについてですが、サイズの測り方を教えてください。

A: 主な持ち込み道具の測り方については以下の用例の通り。



吸い取り紙としての用途のみで使用するもの以外の持ち込み可能サイズ

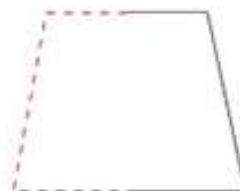
平面のもの（使用時の大きさ＝広げた状態で計測 厚さ5cmまでのものは平面物として計測）



正方形、長方形の
布・紙・型紙・板・パネルなど
(A)+(B)=270cm以内



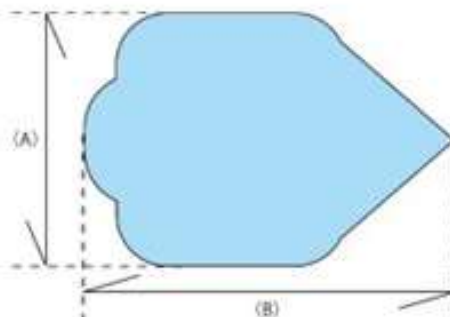
円形、楕円形の布・紙・型紙
・板・パネル など
円周の1/2=270cm以内



三角形、台形、平行四辺形、扇型などの
布・紙・型紙・扇子・板・パネルなど
全周囲部の長さの1/2=270cm以内

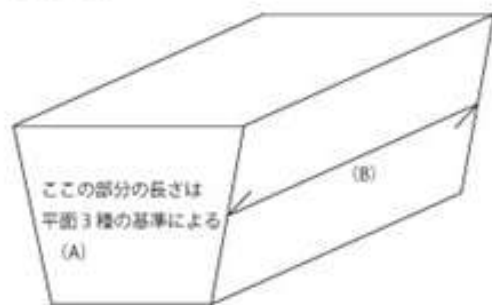


旗、モップなど棒状のものに
平面のものが1つだけ付随しているもの
旗などの部分の寸法（平面3種の基準による）(A)
+ 取付部以外の棒状のものの長さ (B)=270cm以内

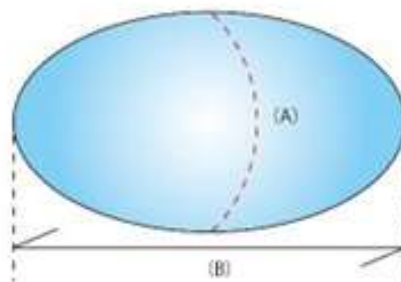


ファンペール、星形、不規則な形など
周囲部の計測が難しい平面のもの
最大幅(A)+最大長(B)=270cm以内

立体のもの（使用時の大きさ＝広げた状態で計測 厚さ5cm以上の平面状の物も含む）



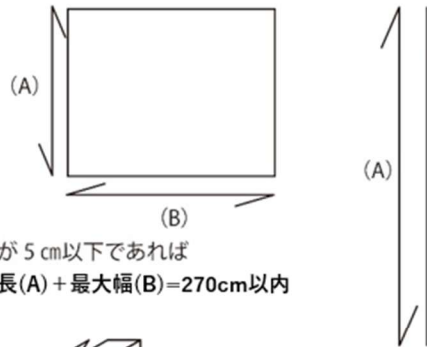
立方体のケース、箱状のもの
側面の部分の寸法（平面3種の基準による）(A)
+ 最大部長さ (B)=270cm以内



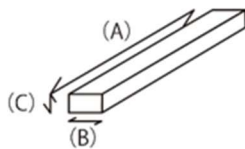
球状、楕円体のもの
最大円周の半分(A)
+ 頂点から頂点までの長さ (B)=270cm以内

例：パネルなどの場合

それぞれのパーツを別々に持ち込み、
演技開始以降に組合せ・組み立てる場合
＝それぞれのパーツのサイズが規定以内



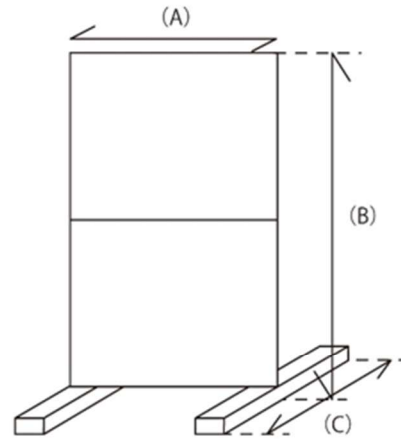
厚さが 5 cm 以下であれば
最大長(A) + 最大幅(B) = 270cm 以内



直径 5 cm 以下の棒状の物
最大長(A) = 270cm 以内

厚さが 5 cm 以上であれば
最大長(A) + 最大幅(B) + 最大高(C) = 270cm 以内
厚さが 5 cm 以下であれば
最大長(A) + 最大幅(B) = 270cm 以内

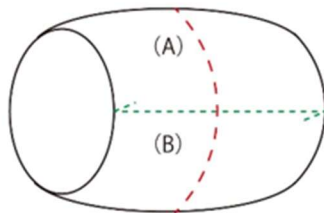
組み立てて持ち込むもしくは
演技開始前に組合せ・組み立てる場合
＝組みあがったサイズが規定以内



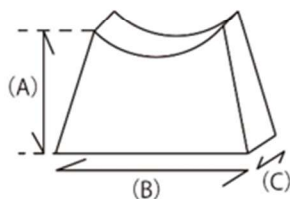
最大幅(A) + 最大高(B) + 最大奥行(C) = 270cm 以内

例：太鼓の場合

それぞれのパーツを別々に持ち込み、
演技開始以降に組合せ・組み立てる場合
＝それぞれのパーツのサイズが規定以内



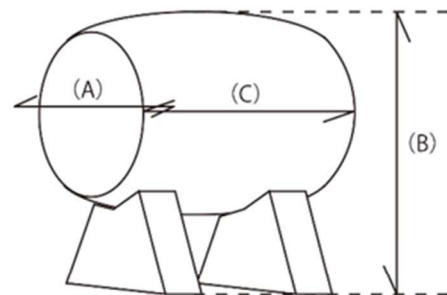
太鼓本体の一番太い円周の半分(A)
+ 高さに相当する部分の長さ(B) = 270cm 以内



太鼓の足一つの最も高い部分の高さ(A)
+ もっとも広い部分の幅(B)
+ もっとも厚い部分の奥行(C) = 270cm 以内

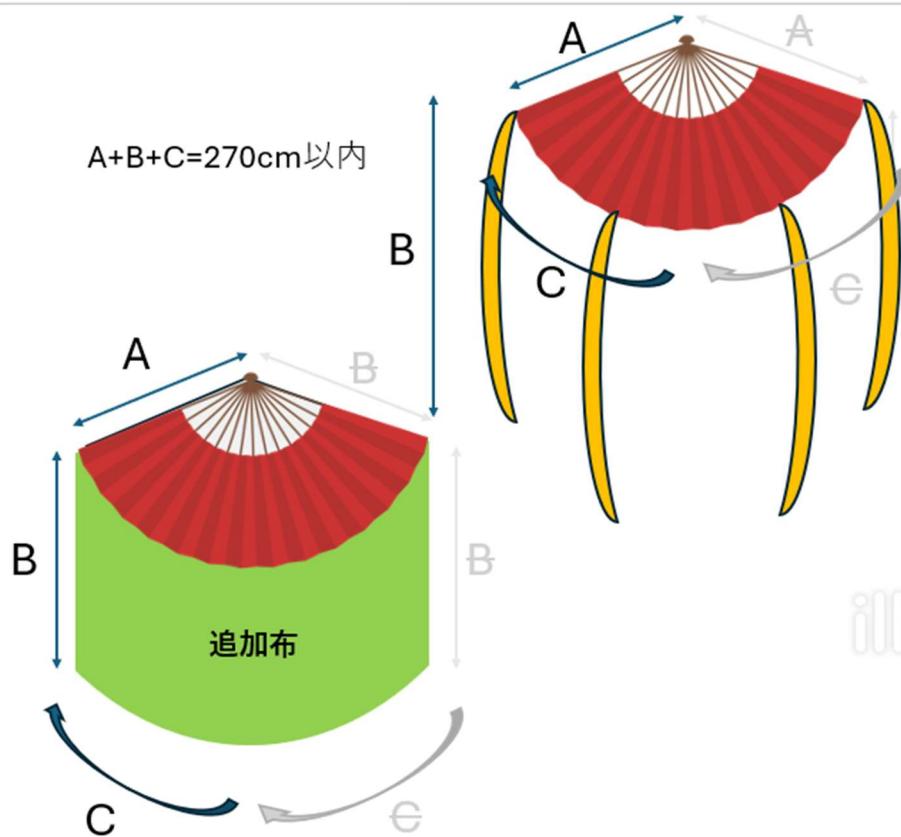
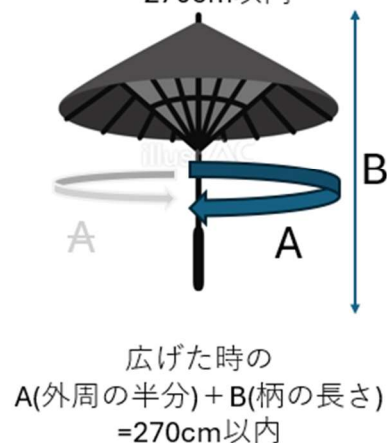
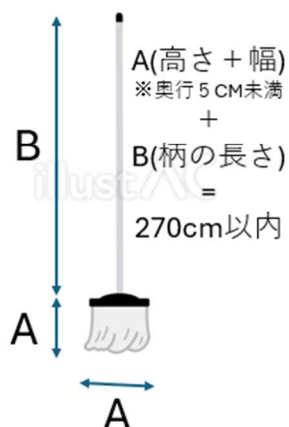
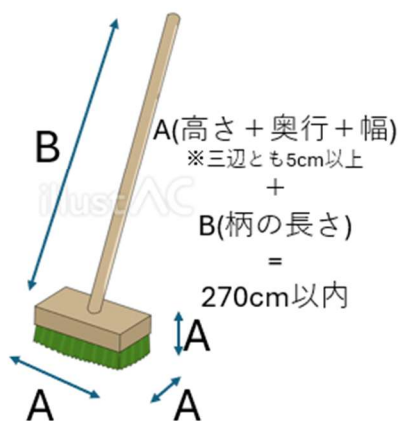
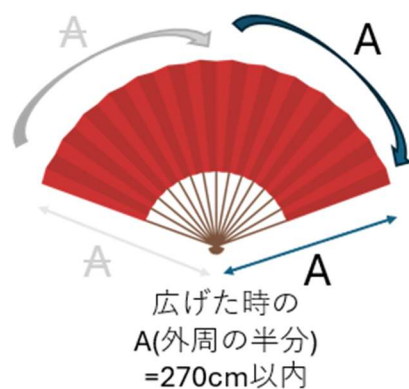
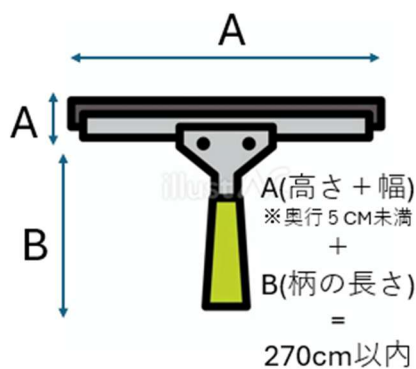
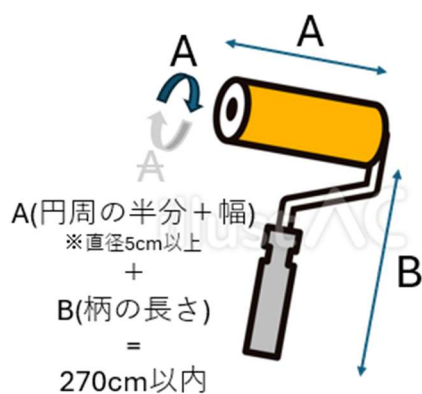
組み立てて持ち込むもしくは
演技開始前に組合せ・組み立てる場合
＝組みあがったサイズが規定以内

外周の計測が困難なので下記の方法で計測



組み合わせた状態で最大外形を計測

外形の最大幅(A) + 最大高(B) + 最大長(C) = 270cm 以内



立体物
A(どちらか、幅の広い方)
+
B(奥行)
+
C(高さ)
=
270cm以内

